

下都賀管内水稻技術資料 No.3

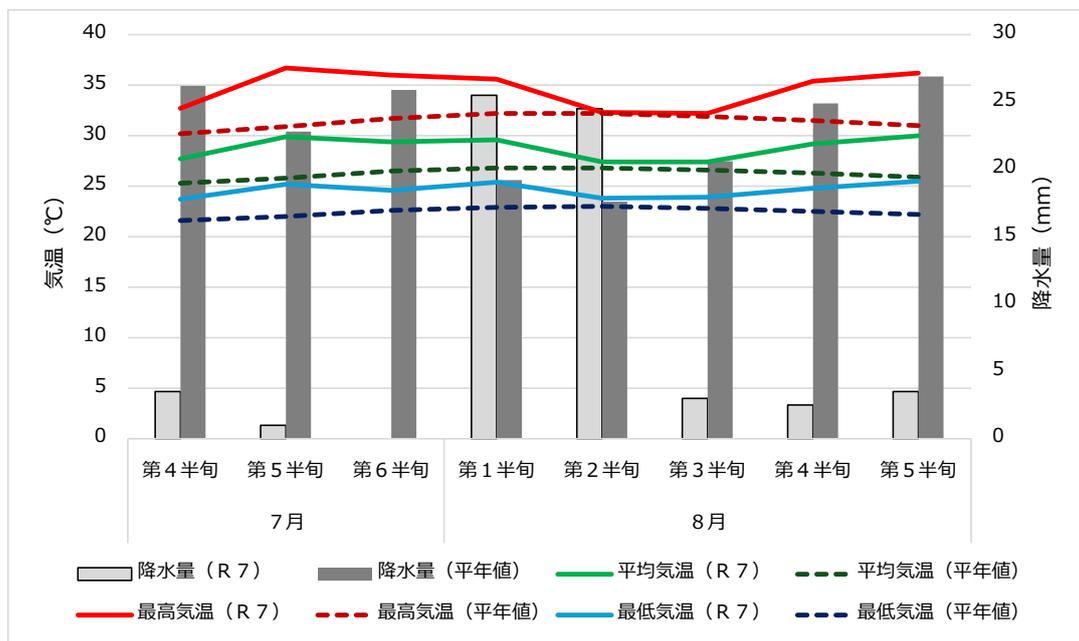
令和7年8月25日(月)
下都賀農業振興事務所

重要ポイント

- ① 出穂後 30 日は水を切らさず、早期落水は絶対にしないようにしましょう。
- ② 帯緑色籾率をよく確認し、適期刈取に努めましょう。

1. 気象条件振り返り

7月後半から8月第5半旬にかけて、高温で推移しました。また、降水量は平年よりも少ないです。



※小山アメダスデータ

2. 気象庁の1か月予報 (8月21日発表)

今後も高温で推移する見込みです。

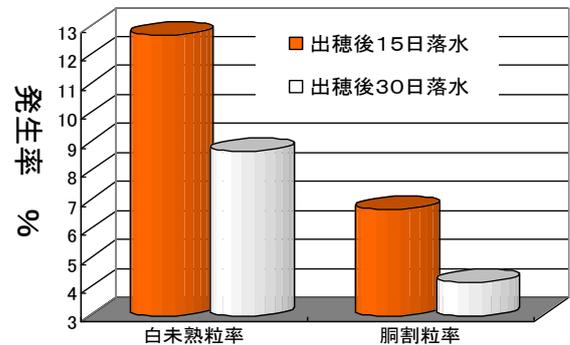
気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 08/23~09/22	10 (低い) 10 (平年並) 80 (高い)
		1週目 08/23~08/29	10 (低い) 10 (平年並) 80 (高い)
		2週目 08/30~09/05	10 (低い) 10 (平年並) 80 (高い)
		3~4週目 09/06~09/19	10 (低い) 30 (平年並) 60 (高い)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 08/23~09/22	40 (低い) 40 (平年並) 20 (高い)
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 08/23~09/22	10 (低い) 30 (平年並) 60 (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3. 水管理<白未熟粒・胴割粒 対策>

出穂～登熟中期に水不足になると、玄米品質を著しく低下させますので、**間断かん水を継続し、早期落水は絶対に行わないようにしましょう。**

- 出穂後 30 日程度は落水しない。
落水後も高温が続く場合は、ほ場条件を考慮し、収穫 10～7 日前まで走水をおこなしましょう。
- 玄米の粒厚が厚いほど白未熟粒率や蛋白質含有率が低下し品質・食味が向上するので、最後までしっかり登熟できるように、落水を急がないようにしましょう。



4. 刈取適期について

向こう1ヶ月の気温は、平年よりも高くなる見込みです。

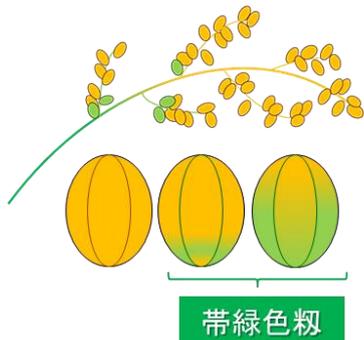
4月下旬に田植えしたほ場では、8月下旬から刈取が始まっています。

また、葉が青い場合でも、刈取適期を過ぎていることがあります。

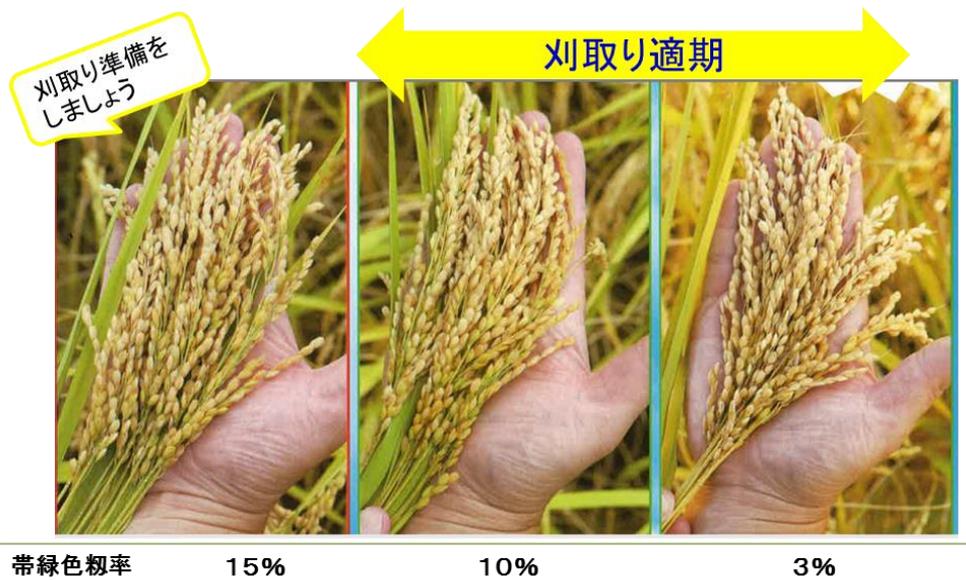
刈取適期を逃さないように、帯緑色粒率（刈取適期目安：10-3%）と登熟積算温度（グラフ参照）で総合的に判断して、刈り遅れのないようにしましょう。

(1) 帯緑色粒率について

【帯緑色粒率とは？】



帯緑色粒率とは、穂のもとに残っている**黄緑色の粒の割合**。10～3%が刈り取り適期です！
※不稔粒は含まない

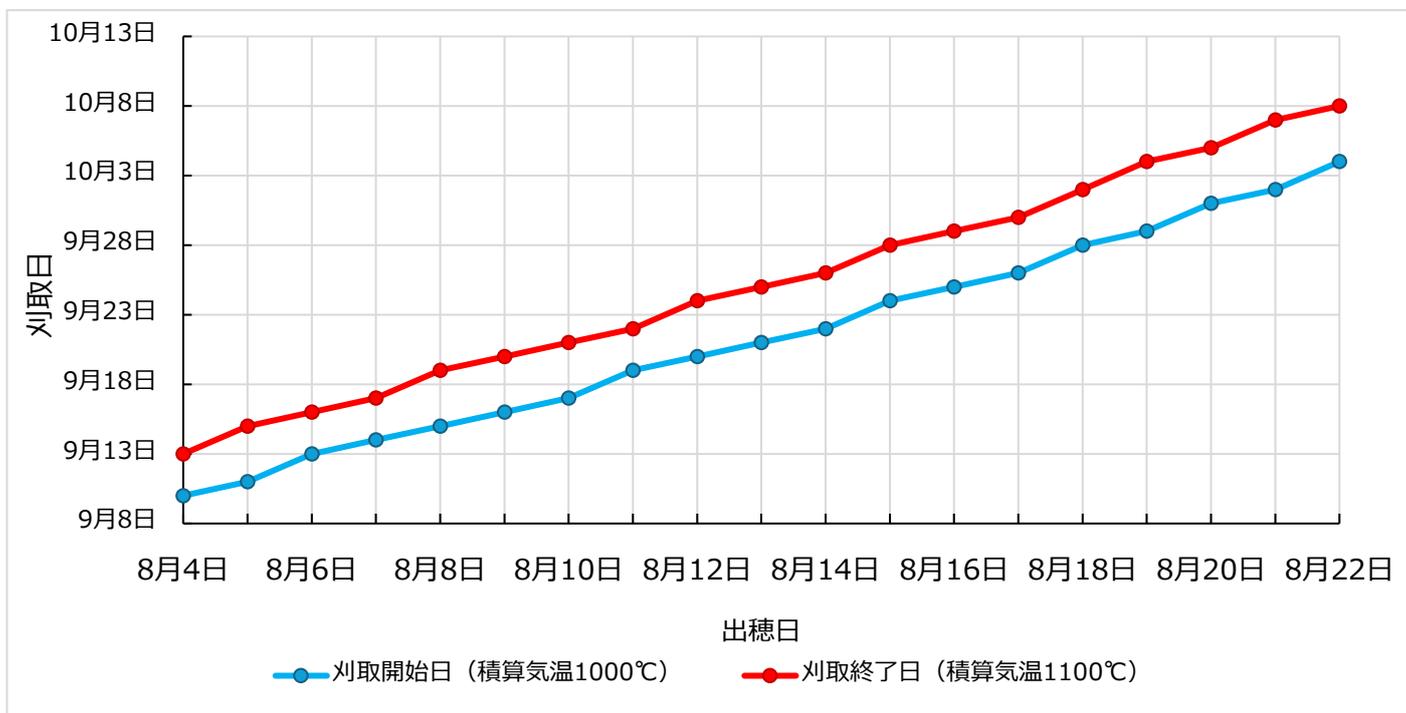
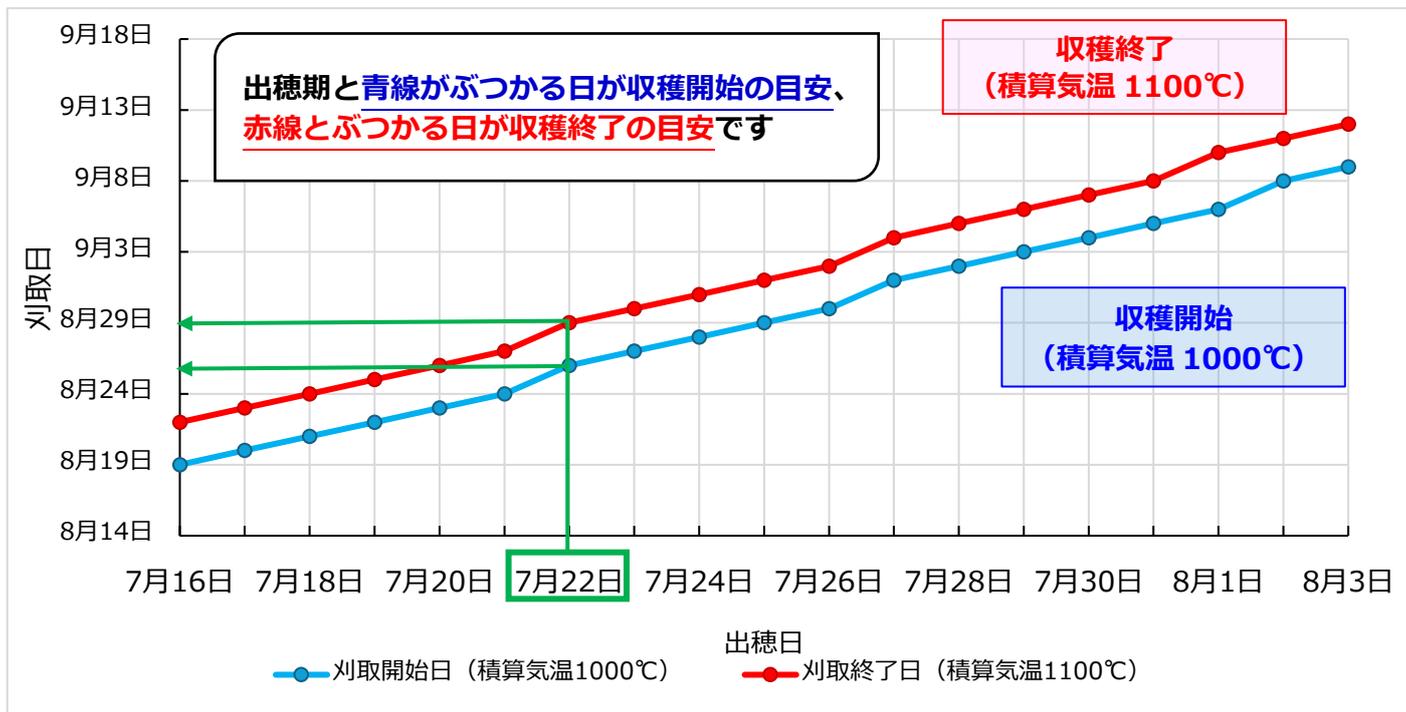


【図1 刈取適期の目安】

(2) 登熟積算気温について

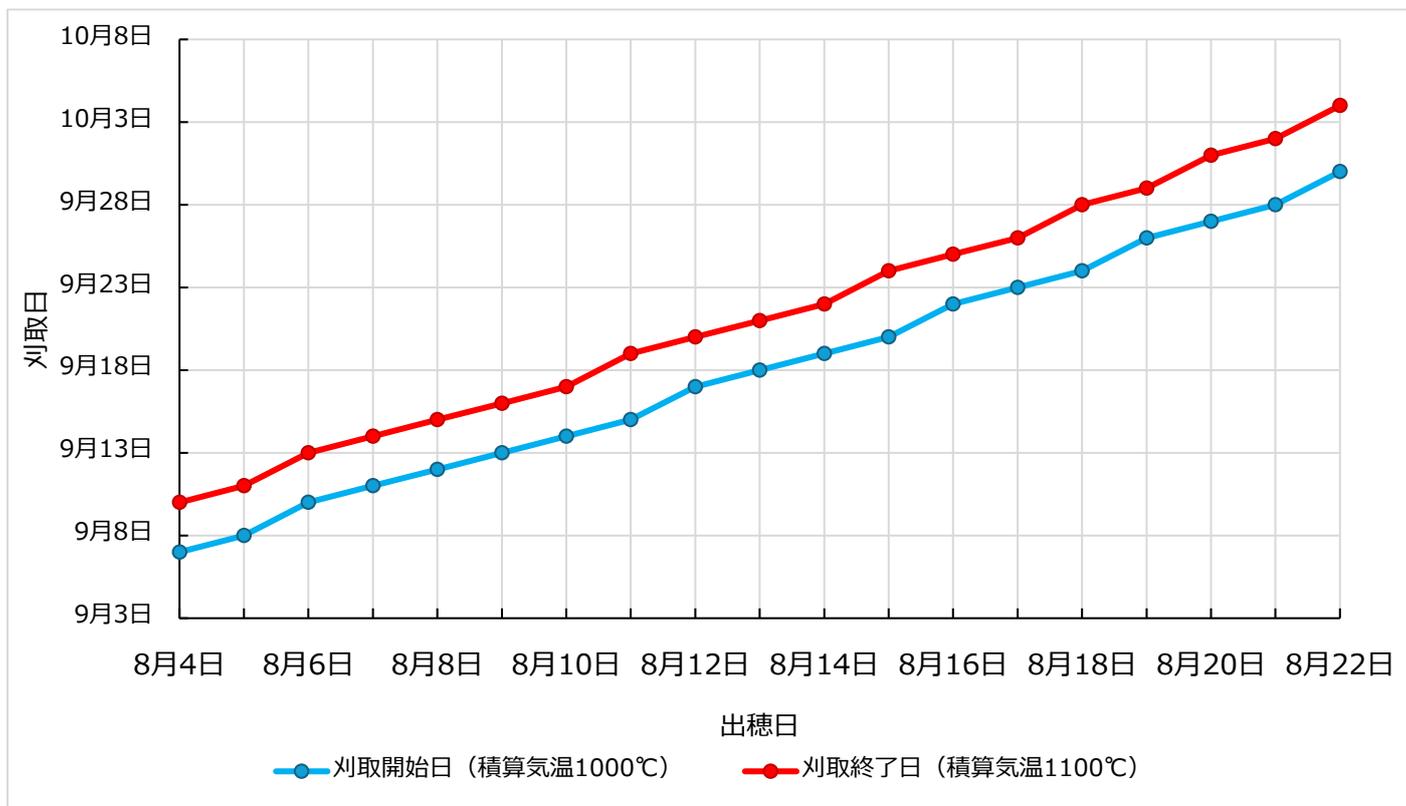
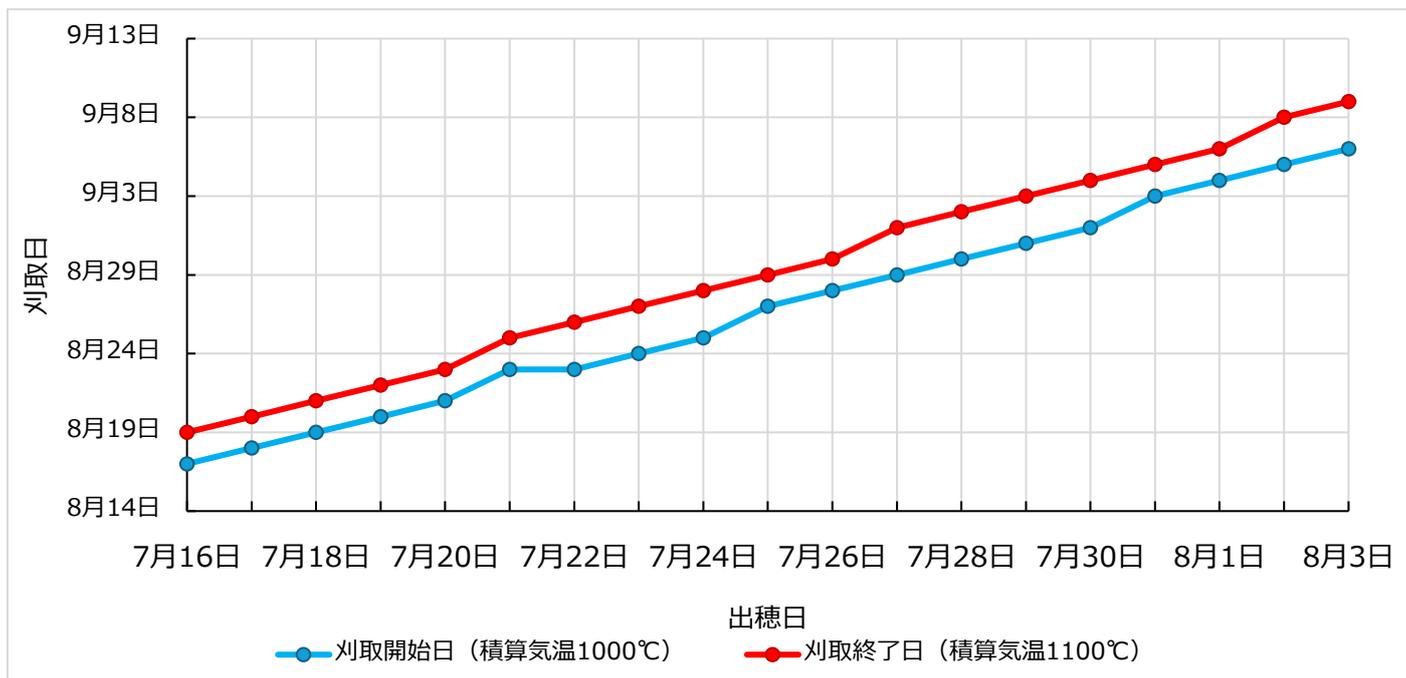
①今後気温が平年並に経過した場合

※積算気温は、小山アメダスのデータを使用。8月21日まで本年実測値、8月22日以降は平年値を用いて積算。



②今後気温が平年+2℃で経過した場合

※積算気温は、小山アメダスのデータを使用。8月21日まで本年実測値、8月22日以降は平年値を用いて積算。



問い合わせ先
 栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101
 HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html>